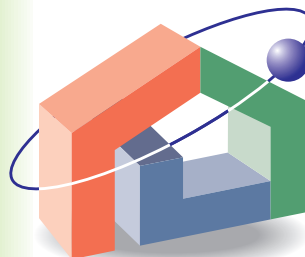


第53期
報告書

平成22年11月21日

▼
平成23年11月20日





株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよこび申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社第53期（平成22年11月21日から平成23年11月20日まで）における営業と決算の概況につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年 2 月

代表取締役社長 北 村 良 一

1 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国の堅調な成長の影響を受け、輸出産業を中心に景気持ち直しの兆しが見られたものの、3月に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動の停滞や消費マインドの低迷が occurred。

その後、電力使用の制限、原子力災害の長期化など懸念すべき問題を抱えながらも、サプライチェーンの急速な復旧による生産活動等の正常化にともない、輸出や需要も回復傾向となりました。

しかしながら、欧州の債務問題による金融不安や米国経済の減速懸念に加え、タイで発生した大洪水による日本企業の生産拠点の活動停止といった企業収益を圧迫する新たな要因の発生など、景気の先行きは不透明感が増す状況で推移いたしました。

当住宅関連業界におきましては、震災の影響による消費マインドの減退が懸念されましたが、商品供給体制の

早期回復や金利優遇などの住宅取得支援策の効果により、当社グループの主要マーケットである持家及び分譲一戸建の新設住宅着工戸数は低水準ながら堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは新規取引先の開拓、重点商品（オリジナル商品、施工付販売、住宅設備機器）やエコ関連商材の販売に努めるとともに、震災後には、代替商品の提案も推進いたしました。そして、経営資源の活用と経営効率の向上を最重点課題として取り組み、収益の改善に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は409億38百万円（前期比7.8%増）、営業利益は5億50百万円（前期比130.7%増）、経常利益は6億40百万円（前期比103.9%増）、当期純利益は3億16百万円（前期比221.1%増）となりました。

2 対処すべき課題

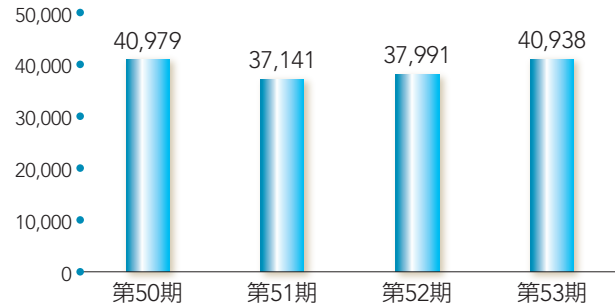
今後の見通しにつきましては、復興需要が徐々に顕在化し企業収益の押し上げに寄与することが見込まれるものの、欧州債務問題の長期化懸念や円高、タイ洪水の影響による資材調達の遅れなどにもともなう国内製造業を中心とした企業業績の下振れが懸念され、景気は極めて不透明な状況で推移するものと予想されます。

また、当住宅関連業界におきましては、今後も継続的に実施されることとなった住宅取得支援策等の効果や復興需要の本格化が見込まれるものの、依然として雇用・所得環境に先行き不透明感が残っていることから住宅関連への投資の大幅な改善は期待しがたく、新設住宅着工戸数は依然として低水準で推移するものと予想されます。

当社グループといたしましては、このような状況を十分認識し、引き続き新規取引先の開拓を推進するとともに、重点商品（オリジナル商品、施工付販売、住宅設備機器）やエコ関連商材の販売強化に取り組んでまいります。重点商品につきましては、環境、省エネをテーマとした住宅設備機器の拡販に努めるとともに、引き続き、施工体制の強化にも努めてまいります。そして、経営資源の活用と経営効率の向上を最重点課題として取り組み、業績の向上を目指す所存でございます。

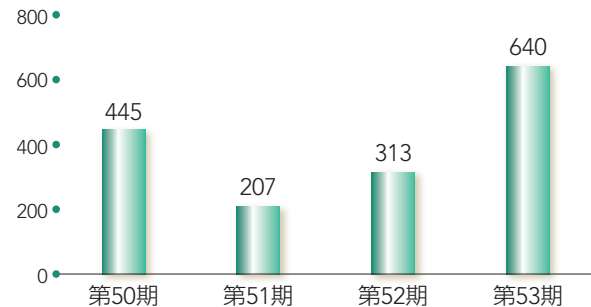
売上高

(単位：百万円)



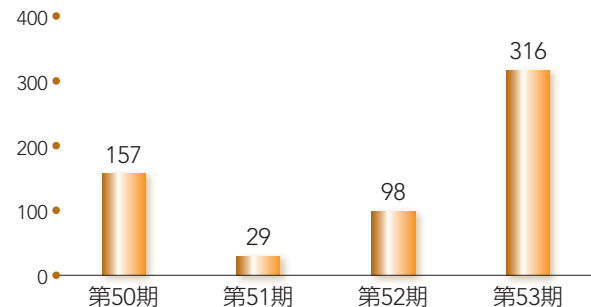
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



幅広い商品群で住まい創りを 総合的にプロデュース

—— 国内外の住宅資材でこだわりのある住まい創りをサポート ——



今や住まい創りには、生活様式や感性など、「こだわり」への対応が求められています。

私たち北恵は、内外装資材から各種設備機器、合板、構造材、銘木まで幅広く商品を取り揃え、また、国内はもとより海外まで独自のネットワークを広げ、機能性や快適性、省エネ対応や地球環境への配慮など、どのようなご要望にも柔軟に対応できるよう体制を整えております。



■ 木質建材

ユニットドア／クローゼット
フロア／収納ユニット
階段セット

■ 非木質建材

石膏ボード／断熱材／屋根材
不燃ボード／サイディング

■ 合板

ラワン合板／針葉樹合板

■ 木材銘木製品

木材構造材／木材造作材
フローリング／銘木工芸品

■ 住宅設備機器

システムキッチン
ユニットバス／洗面ユニット
トイレ／空調機器／燃焼機器
太陽光発電システム

■ 施工付販売

外壁工事／住設工事
屋根工事／構造躯体工事
内装工事／サッシ工事

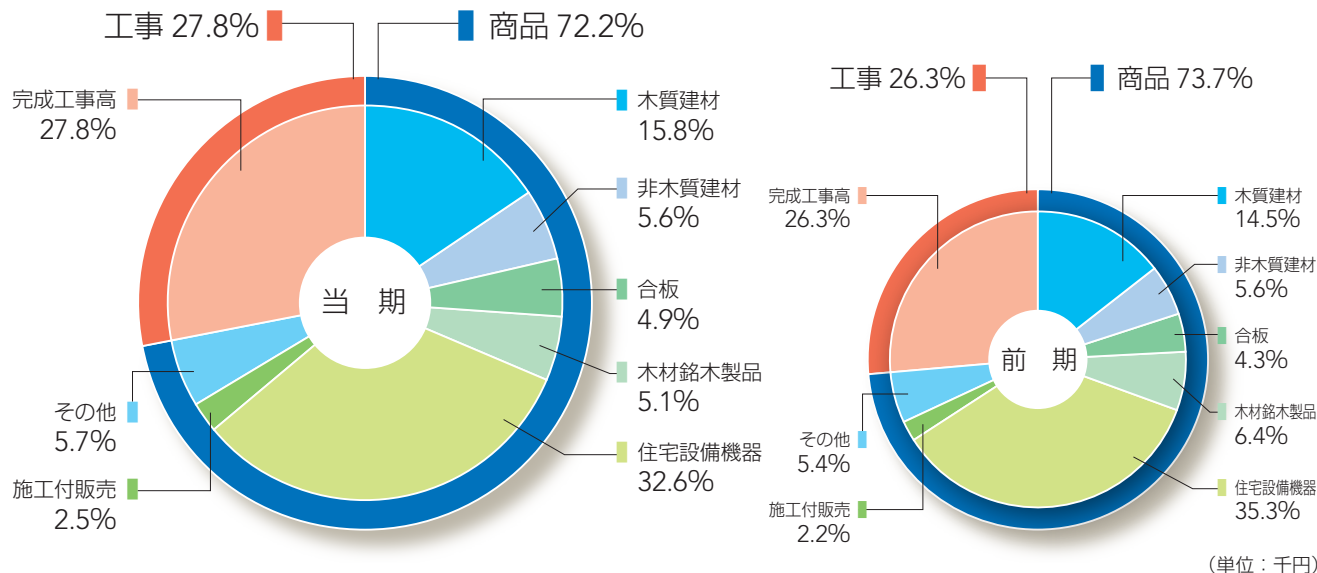
■ オリジナル商品

フローリング／無垢ドア
換気システム／システム収納
木製連続手摺システム

■ その他

化成品／住宅保存剤
建築金物／建築道具
エクステリア

品目別売上高の状況



品 目		当期 (第53期) 平成22年11月21日から 平成23年11月20日まで		前期 (第52期) 平成21年11月21日から 平成22年11月20日まで	
		金 額	構成比	金 額	構成比
商 品	■ 木 質 建 材	6,463,116	15.8%	5,493,079	14.5%
	■ 非 木 質 建 材	2,292,861	5.6	2,119,557	5.6
	■ 合 板	1,988,056	4.9	1,641,614	4.3
	■ 木 材 銘 木 製 品	2,082,748	5.1	2,438,486	6.4
	■ 住 宅 設 備 機 器	13,327,630	32.6	13,396,797	35.3
	■ 施 工 付 販 売	1,031,316	2.5	840,521	2.2
	■ そ の 他	2,368,995	5.7	2,057,298	5.4
	小 計	29,554,725	72.2	27,987,356	73.7
工 事	■ 完 成 工 事 高	11,383,828	27.8	10,004,269	26.3
	小 計	11,383,828	27.8	10,004,269	26.3
合 計		40,938,554	100.0	37,991,626	100.0

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記商品販売金額にはオリジナル商品販売実績2,611,565千円（前期販売実績2,551,138千円）が含まれております。

自然が奏でる心地よさ

—— リラクシングウッドシリーズ ——

 *relaxssing wood*

<http://www.relaxssingwood.com/>



それは、自然の創った
けがれなき繊巧美。

「北恵ならでは」の独自性を象徴する商品群が無垢の木製品。なかでも海外から調達した「無垢フローリング」を中心とするプライベートブランド「リラクシングウッド」は、健康住宅への関心が高まるなか、マーケットリーダーとしての高い評価をいただいております。「ホッとする時間、ホッとする空間」——そんな気持ちに、私たち北恵は「リラクシングウッド」でお応えします。

「環境」「ぬくもり」「素材」の3つがテーマ

—— スプロートユニバーサルシリーズ ——



<http://www.sprout-univ.com/>



環境

環境をテーマとしたシリーズ。
24時間換気システムや乾燥暖房機、
輻射断熱商品など、
住空間や自然に優しい環境を
取り入れます。



ぬくもり

ぬくもりをテーマとしたシリーズ。
木製連続手すりや高齢者向け
和室手すり、飾り収納など、
住まう人に優しさを
お届けします。



素材

素材をテーマとしたシリーズ。
洗面ボールや石材、自由設計の
階段など、素材・質感に
こだわった商品を
ご提案します。

広範な営業活動を展開するなかでいただく様々なご要望やご提案。私たち北恵は、そうしたニーズをよりダイレクトに反映させると共に、当社独自の自由な発想で企画開発した製品で新たなマーケットを開拓したいとの思いから、他社に先駆け、1978年、プライベートブランド「スプロート」の販売を開始しました。そして2004年春、「スプロートユニバーサル」としてリニューアルし、「人にやさしい住まい創り」をコンセプトに、「環境」「ぬくもり」「素材」に象徴される商品開発への新たな挑戦を続けております。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科目	前期（第52期） 平成22年11月20日現在	当期（第53期） 平成23年11月20日現在
（資産の部）		
流動資産	14,315,827	14,599,948
固定資産	3,275,267	3,700,960
有形固定資産	1,750,266	1,728,401
無形固定資産	73,204	77,123
投資その他の資産	1,451,797	1,895,435
資産合計	17,591,095	18,300,908
（負債の部）		
流動負債	8,223,190	8,580,058
固定負債	1,017,401	1,094,051
負債合計	9,240,591	9,674,110
（純資産の部）		
株主資本	8,315,193	8,511,530
資本金	2,220,082	2,220,082
資本剰余金	2,851,384	2,851,384
利益剰余金	3,403,230	3,643,964
自己株式	△159,503	△203,900
その他の包括利益累計額	35,310	115,267
その他有価証券評価差額金	37,166	115,990
繰延ヘッジ損益	△1,856	△722
純資産合計	8,350,503	8,626,798
負債及び純資産合計	17,591,095	18,300,908

連結損益計算書（要約）

（単位：千円）

科目	前期（第52期） 平成21年11月21日から 平成22年11月20日まで	当期（第53期） 平成22年11月21日から 平成23年11月20日まで
売上高	37,991,626	40,938,554
売上原価	33,950,185	36,679,653
売上総利益	4,041,441	4,258,900
販売費及び一般管理費	3,802,772	3,708,326
営業利益	238,668	550,574
営業外収益	214,126	239,699
営業外費用	138,837	149,961
経常利益	313,957	640,313
特別利益	17,722	11,433
特別損失	12,305	4,346
税金等調整前当期純利益	319,374	647,400
法人税、住民税及び事業税	233,321	345,865
法人税等調整額	△12,417	△14,698
少数株主損益調整前当期純利益	—	316,233
当期純利益	98,470	316,233

POINT

●資産合計

投資有価証券4億46百万円ならびに受取手形及び売掛金1億75百万円の増加等により、前期末比7億9百万円増加いたしました。

●負債合計

支払手形及び買掛金の増加等により、前期末比4億33百万円増加いたしました。

●純資産合計

利益剰余金の増加等により、前期末比2億76百万円増加いたしました。

●売上高

当社グループの主要マーケットである持家住宅ならびに分譲一戸建住宅の新設住宅着工戸数が低水準ながらも堅調に推移したことや、エコ関連建材等の販売に努めたことにより、増収（前期比29億46百万円増加）となりました。

●営業利益

売上高の増加による売上総利益の増加に加え、経費削減に努めた結果、販売費及び一般管理費が減少し、増益（前期比3億11百万円増加）となりました。

連結株主資本等変動計算書（要約） 当期（平成22年11月21日から平成23年11月20日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の 包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前期末残高	2,220,082	2,851,384	3,403,230	△159,503	8,315,193	35,310	8,350,503
当期変動額							
剰余金の配当			△75,499		△75,499		△75,499
当期純利益			316,233		316,233		316,233
自己株式の取得				△44,396	△44,396		△44,396
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						79,957	79,957
当期変動額合計	—	—	240,733	△44,396	196,336	79,957	276,294
当期末残高	2,220,082	2,851,384	3,643,964	△203,900	8,511,530	115,267	8,626,798

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）（単位：千円）

科目	前期（第52期） 平成21年11月21日から 平成22年11月20日まで	当期（第53期） 平成22年11月21日から 平成23年11月20日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△421,326	323,951
投資活動による キャッシュ・フロー	△29,402	△331,490
財務活動による キャッシュ・フロー	△76,585	△119,355
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△527,314	△126,894
現金及び現金同等物の 期首残高	5,222,673	4,695,359
現金及び現金同等物の 期末残高	4,695,359	4,568,464

POINT

当期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末より1億26百万円減少し、45億68百万円となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、3億23百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益6億47百万円及び仕入債務の増加額2億42百万円の増加要因に対し、売上債権の増加額1億14百万円及びたな卸資産の増加額2億9百万円ならびに法人税等の支払額2億78百万円の減少要因によるものです。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、3億31百万円となりました。これは主に有価証券の償還による収入2億円の増加要因に対し、投資有価証券の取得による支出5億14百万円の減少要因によるものです。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は、1億19百万円となりました。これは主に配当金74百万円の支払及び自己株式の取得44百万円によるものです。

株式の状況 (平成23年11月20日現在)

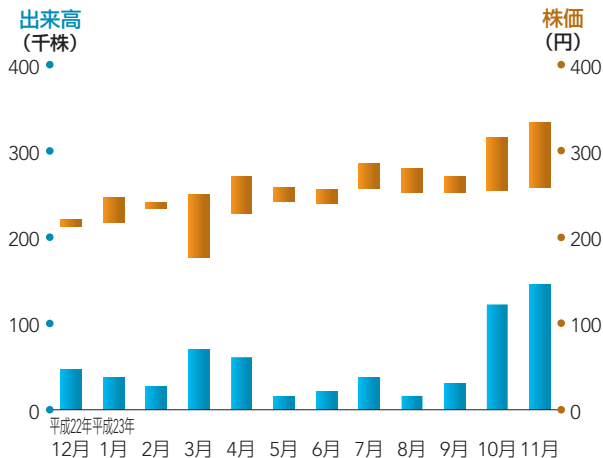
株式の状況

発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	10,011,841株
単元株式数	1,000株
株主数	1,352名

大株主の状況

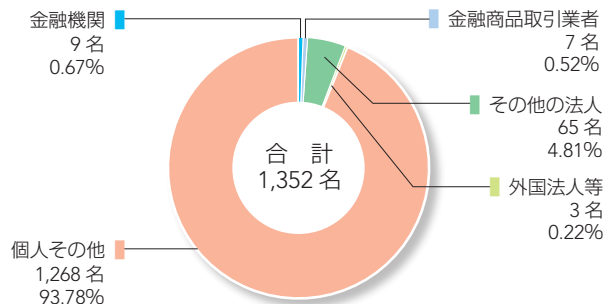
株主名	持株数
北村 三千子	1,260千株
北村 良一	1,222
有限会社 ケイアンドエム	1,073
北恵社員持株会	535
北村 誠	427
北村 裕三	290
竪 智 精	246
株式会社 りそな銀行	200
三菱UFJ信託銀行株式会社	188
日本生命保険相互会社	166

株価推移表

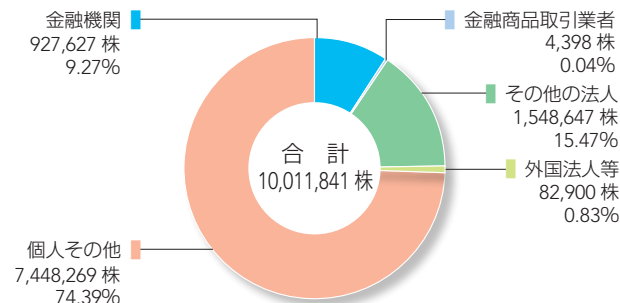


株式分布状況

●株主数構成比



●株式数構成比



株主様優待のお知らせ

毎年11月20日(期末時)に単元株(1,000株)以上の株式をご所有の株主様に、下記の優待をご用意しております。

郵便局の
選べるギフト「鳥」

※3,000円相当の商品をカタログよりお選びいただけます。



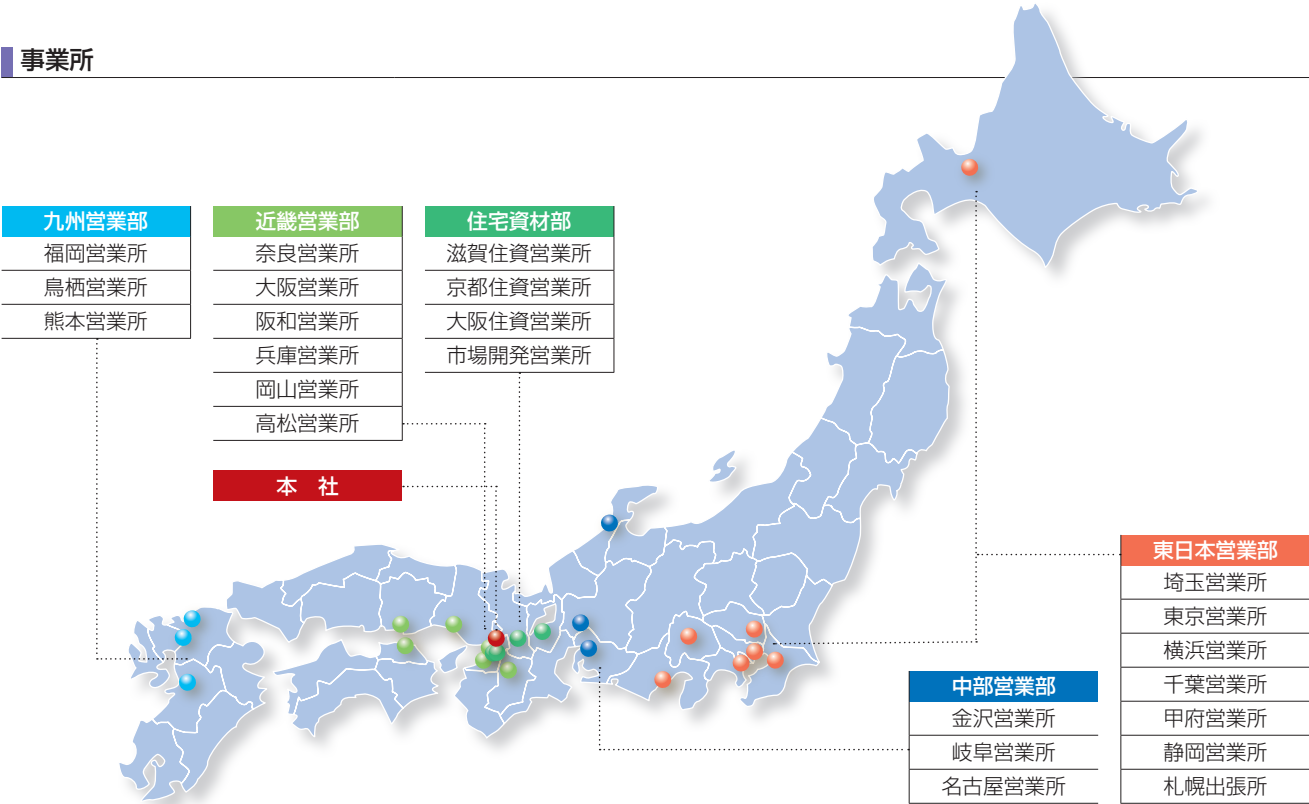
役員の状況

代表取締役社長	北村良一
専務取締役	堅智精
常務取締役	北村誠
取締役	内田治
取締役	竹内潔
取締役	北村裕三
取締役	岸本規正
取締役	山内昭彦
常勤監査役	坂本修
監査役	駒井隆生
監査役	酒谷佳弘

会社の概要

会社名	北恵株式会社 (KITAKEI CO.,LTD.)
設立	昭和34年12月22日
本店所在地	〒541-0054 大阪市中央区南本町三丁目6番14号 イトウビル
従業員数	292名(連結：平成23年11月20日現在)
主な事業	木材店、建材店、工務店、住宅会社等 に対する新建材・住宅設備機器等の商 品販売および施工付販売。

事業所



株主メモ

事業年度	11月21日～翌年11月20日
期末配当金受領 株主確定日	11月20日
中間配当金受領 株主確定日	5月20日
定時株主総会	毎年 2 月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目 6 番 3 号 Tel 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	大阪証券取引所
公告の方法	日本経済新聞に掲載する方法により行う

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。